

事業名	キャンパスネットやまなし運営費	財務コード (事業)	581802
-----	-----------------	---------------	--------

細事業名	その他の事業経費
------	----------

担当部課室	企画県民 部 生涯学習文化 課 生涯学習企画 担当 (内線)	1652
-------	--------------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 H14 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に 教育課程にある者、勤労者、家庭人、中高齢者など、県民全般	その対象をどのような状態にして 自由に学ぶことができ、その成果が適切に評価され、社会参加につながっている。	結果、何に結びつけるのか 生涯学習活動の促進
	事業の内容 ※主に23年度 ○事業概要:キャンパスネットやまなしの運営及び普及啓発を行う。 ○事業内容 ・入学者の募集(入学者募集用リーフレットの作成(5,000部)) ・講座情報の提供 講座情報誌(1,300部×年4回)の発行とインターネットによる情報提供 ・奨励賞の交付 H23実績254名 累計2,261名		
根拠法令等	キャンパスネットやまなし設置要綱、キャンパスネットやまなし運営細則		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 ・入学者募集用リーフレットの発行 ・講座情報誌発行 活動指標達成率(実績値/目標値)	10,000部 1,300部×4回	5,000部 1,300部×4回	5,000部 1,300部×1回 1,400部×3回	5,000部 1,300部×4回	5,000部 1,300部×4回	目標設定の考え方 市町村生涯学習関連施設及び連携機関数を配布先として設定した。 データの出典等 予算見積書及び実績
			%			
成果指標 「キャンパスネットやまなし」に入学者数(累計) 成果指標達成率(実績値/目標値)	4,356人	4,400人	4,736人	4,900人	5,000人	目標設定の考え方 「やまなしの教育振興プラン」のH25年度の目標値(入学者累計5,000人)による。 データの出典等 「やまなしの教育振興プラン」
			107.6 %			
決算額、予算額	1,341		1,149	972	744	成果指標によらない成果
(千円) うち一財額	1,341		1,149	972	744	
所要時間(直接分)	350 時間		300 時間	280 時間	250 時間	
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	
所要時間計	350 時間		300 時間	280 時間	250 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	707		606	566	505	

III これまでの事業の見直し・改善状況

H23～ 募集リーフレットの構成変更により入学手続き簡便化を図るとともに、リーフレットの印刷部数を10,000部から5,000部に改め、より効率的な活用を図った。
「まなびの手帳」に、奨励賞申出ハガキを印刷することにより、奨励賞本人確認に要するハガキ代(役務費)を削減した。

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること より多くの県民が生涯学習に取り組む機会の提供を図るため、市町村始め、各連携機関への募集用リーフレットや、紙媒体により講座情報誌を配布した。また、平成23年度は不特定多数の方が出入りする場所として、新たに山梨中央銀行各支店への配布や公共図書館への配布部数を増やすなど、配布先や配布部数の見直しを行い、予定どおりの活動量を上げた。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること 当事業は、県民の生涯学習を総合的に支援する仕組みとして、主に県民への生涯学習勸奨事業と位置づけている。これまでの取組みにより、毎年一定の入学者が確保され入学累計は着実に伸びたことから、生涯学習に取り組む県民の底辺拡大は図られており、意図した成果を上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目
有	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発及び入学者募集用として作成しているリーフレットの印刷仕様(コート紙、カラー印刷)を見直すことにより経費を削減する。 講座情報誌の発行に加え、メールマガジン(毎月配信 登録者約1,250人)に講座情報誌URL(HP登載)を添付し、より効果的な情報提供を行う。 講座情報誌と、生涯学習推進センター発行の「生涯学習やまなし」(共に季刊誌)について、現在別個に行っている配布方法を見直し効率化を図る。 	i・k・l

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットの用途を勘案しつつ紙質をコート紙から上質紙に、多色刷りを単色刷りなど印刷仕様を大幅に見直すことにより、経費削減を図ることとする。 講座情報誌(年4回:紙ベース、1,300部発行)の発行部数は限りがあるため、紙媒体とは異なる手法を用いて広報することとし、毎月インターネットにより配信しているメールマガジン(登録者数約1,250人)へ講座情報誌掲載URLを添付し配信することで、より効果的かつ広範な情報提供を行うこととする。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。